

令和6年度中野市学校給食センター運営委員会（臨時）次第

日時：令和7年2月4日（火）

午後3時30分から

場所：中野市南部学校給食センター

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 中野市学校給食センターの新設統合について

(2) その他

7 閉 会

中野市学校給食センター運営委員会委員名簿

任期：令和5年8月1日から令和7年7月31日まで

委員	選出枠	氏 名	備考
	識見者	竹節 幸子	北信保健福祉事務所 食品・生活衛生課
		村島 康秋	中高薬剤師会
		神田 久仁玲	北信食品衛生協会 中野支部 支部長
		小林 みどり	中野市食生活改善推進協議会 会長
		小池 留美子	延徳小学校 P T A
		小林 裕美	高丘小学校 P T A
		野口 央梨恵	中野市養護教諭部会 中野平中学校養護教諭
	教職員	塩崎 陽子	高社小学校 校長
		小山 正博	中野平中学校 校長
	公募	嶋田 茜	市民
		田中 五月	市民
		古田 忍	市民

事務局	職名	氏 名	所属
	教育長	柴本 豊	
	教育次長	柴本 清天	
	所長	大沢 英樹	南部・北部学校給食センター
	栄養教諭	田澤 悦子	南部学校給食センター
	栄養職員	高橋 佳子	〃
	栄養士	中島 美紀	〃
	会計年度 任用職員	篠原 絵美	〃
	栄養教諭	宮澤 比呂子	北部学校給食センター
	栄養職員	平沢 由美	〃
	副主幹	田中 幸子	〃
	栄養士	望月 智	〃
	栄養士	岩本 めぐみ	〃
	会計年度 任用職員	畠山 真美子	〃

運営委員会座席表

小山会長

竹節委員

村島委員

神田委員

小林みどり
委員

塩崎委員

小林裕美
委員

田中委員

柴本
教育長

柴本
教育次長

大沢所長

田澤
栄養教諭

宮澤
栄養教諭

田中
副主幹

学校教育課
高藤
施設係長

出入口

中野市学校給食センターの新設統合について

【給食センターの現状と課題】

南部及び北部学校給食センターの2つのセンターにおいて、小中学校の学校給食を提供しています。両センターとも経年劣化により、施設の改修や厨房機器の更新等が必要であり、毎年、多額の修繕料等が発生しています。

また年々、児童・生徒数が減少しており、令和9年度には3,000人を下回り、令和12年度には2,500人程度になる見込みです。

○施設の概況

名 称	供用開始	調理能力	延床面積	敷地面積
南部学校給食センター (大字西条 138 番地)	平成 19 年 8 月	2,500 食 (1,800 食提供)	1,704.23 m ²	4,756.49 m ²
北部学校給食センター (大字新井 332 番地 1)	平成 18 年 4 月	2,000 食 (1,700 食提供)	1,653.05 m ²	4,000.00 m ²

○配送状況

名 称	校数	配送先
南部学校給食センター	6 校	日野小、延徳小、平野小、高丘小、南宮中、中野平中
北部学校給食センター	5 校	中野小、高社小、豊田小、高社中、豊田中

○修繕・工事費等

施設	年度	修繕・工事費等	備品（厨房機器等）	計
南部	5	1,000 万円 IH 回転釜ほか	0 円	1,000 万円
	6	254 万円 温水器ほか	1,188 万円 ブラストチラー	1,442 万円
北部	5	1,051 万円 雨漏りほか	665 万円 コンテナほか	1,716 万円
	6	369 万円 空調ほか	1,245 万円 IH 回転釜ほか	1,614 万円

○児童・生徒の推移見込

(R6.5.1 現在)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
3,150 人	3,105 人	3,047 人	2,937 人	2,813 人	2,679 人	2,525 人

○統合する主なメリット

- ・スケールメリットによる調理業務の効率化
- ・職員数及び施設管理費等の削減
- ・環境負荷の軽減

○改修が適さない主な理由

- ・給食は止められないため、工事期間が長く取れない。
- ・施設の増設が必要
- ・改修した場合でも、10年～15年後には、建て替えが必要

【センターの建設にあたっての基本方針】

学校給食の運営については、今後の財政状況も踏まえた効率的な運営が必要となることから、新設統合する給食センター建設について以下のように設定します。

○調理能力

児童・生徒数の推移見込みに教職員等の人数を加算し、調理能力を最大 3,300 食/日とします。

○整備の方向性

現給食センターの更新や機能拡充を行うのではなく、別の場所へ統合して新設します。

○建築面積

敷地面積は、4,000 m²程度を予定し、延床面積は、2,500 m²程度を想定しています。

○運営方法

公設公営の現在の運営方法を変更しない方針として進めます。

○建設予定地

所在地：中野市大字片塩 41 番地（平野保育園跡地）

メリット：市の所有地に建設することで財政負担を軽減できる。

面積、配送、雇用に関する地理的条件が良好である。

既設の電気・上下水道などのインフラを使用できる。

建設に当たっての用途地域の制限などがない。

○事業費の試算

概算事業費の試算は、総額約 30 億円を想定しています。内訳は以下のとおりです。

建物建設：20 億円程度

厨房機器等購入費：7 億円程度

施設の解体（平野保育園、北部学校給食センター）：3 億円程度

《想定される財源》

建設：学校施設環境改善交付金（1/2） 学校教育施設等整備事業債（90%）

解体：公共施設等適正管理推進事業債（90%）

○今後の進め方

各関係団体や学校、保護者等へ説明を行い、ご理解を得ながら整備スケジュールに沿って整備を進めます。

整備スケジュール

事業内容	令和 7 年度				令和 8 年度				令和 9 年度				令和 10 年度			
調査・設計																
解体工事																
建設工事																
運営準備																
供用開始																